



2023年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社 I N F O R I C H  
代 表 者 名 代表取締役社長 秋 山 広 宣  
兼執行役員CEO  
(コード番号：9338 東証グロース)  
問い合わせ先 取締役 橋 本 祐 樹  
兼執行役員CFO  
メール：ir@inforichjapan.com

## 営業外収益、営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上並びに 個別業績と前期実績値の差異に関するお知らせ

当社グループは、2023年12月期決算において、営業外収益（貸倒引当金戻入益）、営業外費用（為替差損）及び特別損失（減損損失、関係会社株式評価損）並びに法人税等調整額（益）を計上するとともに、2023年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、当該期間に係る個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては前期実績値との比較になっております。

### 1. 営業外収益（貸倒引当金戻入益）の内容【個別】

当社の完全子会社である INFORICH ASIA HOLDINGS LIMITED に対し資金の貸付を行っている金額について貸倒引当金を計上しておりますが、同子会社の財務状況が改善されたことから341百万円を貸倒引当金戻入益として営業外収益に計上しております。

この結果、2023年12月期の個別財務諸表において、関係会社貸付金にかかる貸倒引当金の額は1,193百万円となりました。

なお、当社の個別決算で計上される貸倒引当金戻入益については、連結決算において相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

### 2. 営業外費用（為替差損）の内容【連結】

2023年12月期 第4四半期連結会計期間（2023年10月1日～2023年12月10日）において、為替相場の変動により、為替差損76百万円を計上致しました。

これは主として、当社の完全子会社である INFORICH ASIA HOLDINGS LIMITED が計上している当社からの円建ての借入金につき、連結決算の過程において期末為替レートによる換算で発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

なお、2023年12月期 第3四半期累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）において、為替差益180百万円を計上していたため、2023年12月期第4四半期累計期間における為替差益は104百万円となりました。

### 3. 特別損失（減損損失）の内容【連結・個別】

当社の ChargeSPOT 事業で利用するモバイルバッテリーの一部について、除却予定となり将来の使用が見込まれていないことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。これに伴い、2023年12月期第4四半期連結会計期間において、減損損失47百万円を計上致しました。

この結果、2023年12月期 第3四半期連結累計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、減損損失は100百万円を計上していたため、2023年12月期第4四半期連結累計期間における減損損失は148百万円となりました。

なお、2023年12月期の個別財務諸表において、減損損失は185百万円となりました。

#### 4. 特別損失（関係会社株式評価損）の内容【個別】

当社が保有する連結子会社である株式会社 CHARGESPOT MARKETING の株式について、「金融商品に関する会計基準」に基づき評価した結果、経営成績及び財政状態の低下により、その実質価値の著しい低下が認められたものについて、特別損失として、関係会社株式評価損を 2023 年 12 月期の個別財務諸表において、11 百万円を計上いたしました。

なお、当社の個別決算で計上される関係会社株式評価損については、連結決算において相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

#### 5. 法人税等調整額（益）の内容【連結・個別】

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産が増加したことから、2023 年 12 月期第 4 四半期連結会計期間において、法人税等調整額（益）△117 百万円を計上いたしました。

この結果、2023 年 12 月期 第 3 四半期連結累計期間（2023 年 10 月 1 日～2023 年 12 月 31 日）において、法人税等調整額（益）は 3 百万円を計上していたため、2023 年 12 月期第 4 四半期連結累計期間における法人税等調整額（益）は△114 百万円となりました。

なお、2023 年 12 月期の個別財務諸表において、法人税等調整額（益）は△116 百万円となりました。

#### 6. 2023 年 12 月期通期個別業績と前期実績値との差異（2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日）

|          | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|----------|-------|--------|--------|--------|-----------------|
|          | 百万円   | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭             |
| 前期実績（A）  | 3,393 | △1,473 | △1,738 | △1,706 | △190.37         |
| 今期実績（B）  | 6,177 | 334    | 580    | 475    | 51.18           |
| 増減額（B-A） | 2,783 | 1,807  | 2,319  | 2,182  | —               |
| 増減率（%）   | 82.0  | —      | —      | —      | —               |

注 当社は、2022 年 9 月 30 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を、2023 年 4 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を行っております。2022 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

#### （差異の理由）

2023 年 3 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に位置付けられ、さまざまな制限が事実上撤廃されました。イベントの解禁や飲食店の営業時間短縮が「コロナ禍」以前に戻るなどしたことにより、人流は大幅に回復したこと、積極的な投資を進めたことによるバッテリースタンドの設置台数の増加に伴い、レンタル回数が伸長した結果、売上高、営業利益、経常利益と前期実績を大幅に上回る結果となりました。当期純利益につきましては、除却予定である資産を回収可能価額まで減額したことに伴う減損損失を計上していますが、当期より繰延税金資産を計上したことに伴い法人税等調整額を計上していることから、前期実績を大幅に上回る結果となりました。

以 上